

個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	笠岡高等学校			所在地	笠岡市笠岡3073-2		
敷地面積	31,727.81 m ²			棟数	37 棟 (計画記載対象 15 棟)		
延床面積	11,250.59 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強		津波 -			浸水 -		
建築規制	非線引都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	321,657 kWh	164 m ³	2,280 m ³	1,762 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 笠岡市指定緊急避難場所・指定避難所(津波・土砂災害・洪水・高潮)						

1 施設内建物の概況

名称	普通教室棟(23棟)4-1	普通教室棟(23-2棟)4-2	普通教室棟(56棟)4-3
築年(西暦)	1964年	1965年	1981年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	224.90 m ²	364.43 m ²	41.76 m ²
延床面積	674.69 m ²	1093.29 m ²	257.56 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室 研修室	研修室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	不適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

名称	特別教室棟(25棟)7-1	特別教室棟(26棟)7-2	特別教室棟(59棟)7-3
築年(西暦)	1967年	1968年	1982年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	198.38 m ²	182.73 m ²	167.07 m ²
延床面積	793.52 m ²	838.16 m ²	789.51 m ²
主要な用途 (室名等)	生物教室 科学教室 物理教室	生物教室 科学教室 物理教室	食物教室 被服教室 美術教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	外壁	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(36棟)9-1	特別教室棟(37棟)9-2	管理棟(24棟)6-1,6-2
築年(西暦)	1969年	1969年	1966年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	109.20 m ²	163.80 m ²	297.41 m ²
延床面積	436.80 m ²	491.40 m ²	891.74 m ²
主要な用途 (室名等)	合併教室 書道教室 地歴公民教室	音楽教室	事務室 教務室 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 I_s 値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理棟(60棟)13	体育館(38-2棟)10-1	格技場(42棟)10-2
築年(西暦)	1988年	1970年	1978年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	80.62 m ²	174.17 m ²	403.19 m ²
延床面積	241.05 m ²	1697.65 m ²	403.19 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室	体育館	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	記念館(食堂)(70棟)17	自転車置場(61棟)	自転車置場(63棟)
築年(西暦)	2001年	1983年	1983年
構造	鉄骨造 3階	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	336.11 m ²	132.75 m ²	212.63 m ²
延床面積	985.45 m ²	265.50 m ²	371.25 m ²
主要な用途 (室名等)	千鳥会館	自転車置場	自転車置場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備		
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 I_s 値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
普通教室棟(23棟)4-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
普通教室棟(23-2棟)4-2	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
普通教室棟(56棟)4-3	予防保全を図る。
特別教室棟(25棟)7-1	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(26棟)7-2	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(59棟)7-3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
特別教室棟(36棟)9-1	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(37棟)9-2	予防保全を図る。
管理棟(24棟)6-1,6-2	予防保全を図る。
管理棟(60棟)13	予防保全を図る。
体育館(38-2棟)10-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
格技場(42棟)10-2	予防保全を図る。
記念館(食堂)(70棟)17	予防保全を図る。
自転車置場(61棟)	予防保全を図る。
自転車置場(63棟)	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(59棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
普通教室棟(23棟)4-1	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(23-2棟)4-2	設備等の定期更新					トイレ 洋式化					
普通教室棟(56棟)4-3	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(25棟)7-1	設備等の定期更新					屋上 防水					
特別教室棟(26棟)7-2	設備等の定期更新					屋上 防水					
特別教室棟(59棟)7-3	設備等の定期更新					屋上 防水					
	長寿命化改修									設計・施工 1	
特別教室棟(36棟)9-1	設備等の定期更新					屋上 防水					
特別教室棟(37棟)9-2	予防保全				予防保全を図る。						
管理棟(24棟)6-1,6-2	予防保全				予防保全を図る。						
管理棟(60棟)13	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(38-2棟)10-1	設備等の定期更新					トイレ 洋式化					

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
格技場(42棟) 10-2	予防保全				予防保全を図る。						
記念館(食堂) (70棟)17	予防保全				予防保全を図る。						
自転車置場(61棟)	予防保全				予防保全を図る。						
自転車置場(63棟)	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

総額 1億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	特別教室棟(25棟,26棟,59棟,36棟)及び体育館(38-2棟)において、設備等の定期更新を追加